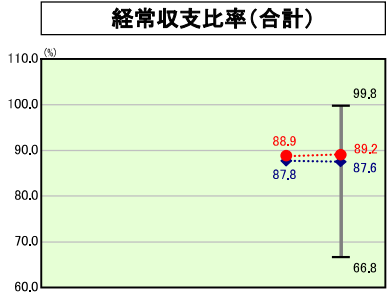


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福井県 越前市

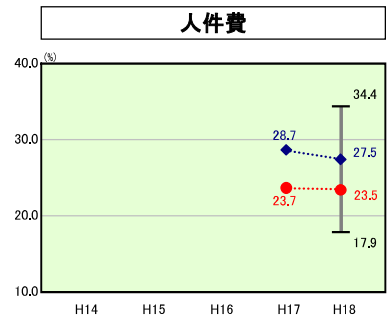
経常収支比率の分析



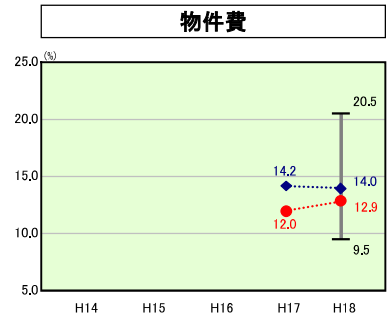
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 □
類似団体内最小値 ▮

人口	84,214 人(H19.3.31現在)
面積	230.75 km ²
歳入総額	30,470,013 千円
歳出総額	29,126,270 千円
実質収支	1,248,698 千円

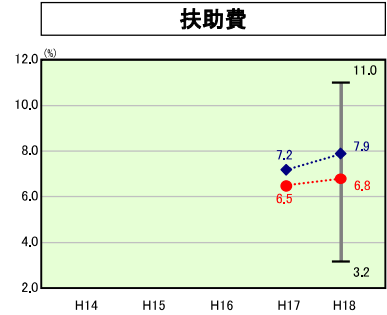
H18類似団体内順位
22/43
全国市町村平均
80.3
福井県市町村平均
88.4



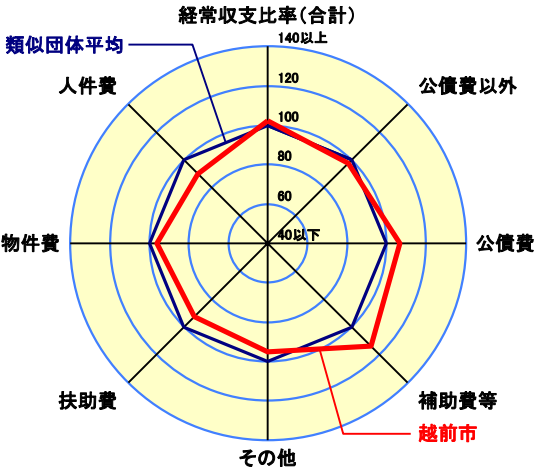
H18類似団体内順位
7/43
全国市町村平均
28.2
福井県市町村平均
27.4



H18類似団体内順位
17/43
全国市町村平均
12.9
福井県市町村平均
13.0



H18類似団体内順位
7/43
全国市町村平均
8.0
福井県市町村平均
6.5



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成17年10月1日に、旧武生市と旧今立町の合併により、越前市となった。

●人件費：類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっているが、要因としてごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行なっていることがある。しかし、平成19年度のラスパイレズ指数は、101.4と、グループ平均を上回っている。平成18年度以降、手当の抜本的見直しを行っており、平成20年度においては、職員給料月額1%削減や昇給抑制を実施し縮減に努める。

●物件費：類似団体平均と比較すると、物件費に係る経常収支比率は低くなっているが、前年度より増加傾向にある。要因として各種公共施設の管理について積極的に指定管理制度を導入していること、行政構造改革プログラムに基づく職員の削減目標達成のため、職員の採用を抑制し臨時職員により対応していることによるものである。

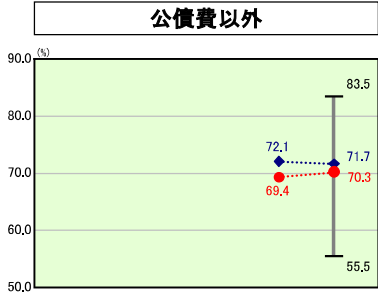
●扶助費：類似団体平均と比較すると、扶助費に係る経常収支比率は低くなっているが、前年度より増加傾向にある。要因として少子高齢化が進行していることによるものである。

●公債費：合併市町村の地方債を引き継いだことにより地方債残高が増加した影響及び一部事務組合の起債に対する繰出金の影響により、地方債の元利償還金が増え、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を3.0ポイント上回っている。公債費の占める割合が大きく、財政の硬直化を招く危険性もあることから、平成20年度当初予算においては、発行額の総額規制を行い、地方債の新規発行を抑制した。今後も引き続き、地方債の新規発行の抑制に努める。

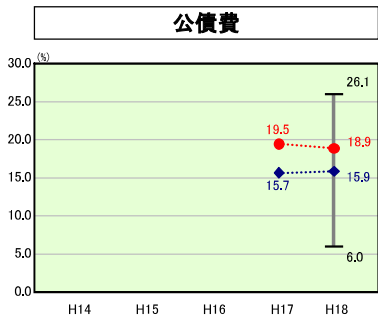
●補助費等：補助費等その他に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、市の出資する法人等各種団体への補助金が多額になっているためである。特に一部事務組合に対するものが人口一人当たりの決算額で類似団体平均を162.4ポイント上回っている。今後は、恒常的な補助金の見直しとともに一部事務組合の適切な指導に努める。

●その他：類似団体平均と比較すると、その他に係る経常収支比率は低くなっており、また、減少傾向にある。

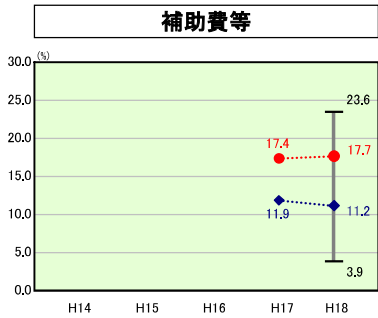
●普通建設事業費：普通建設事業費の人口一人当たりの決算額は、類似団体平均を22.1ポイント上回っている。これは、合併協定に基づく学校建設、道路網の整備等によるものである。特に教育費における人口一人当たりの決算額で類似団体平均を131.1ポイント上回っている。今後、特に学校耐震化の推進を図る必要があるが、独自に積み立てた、学校耐震化推進基金を有効に活用しつつ、計画的な事業進行を行う。



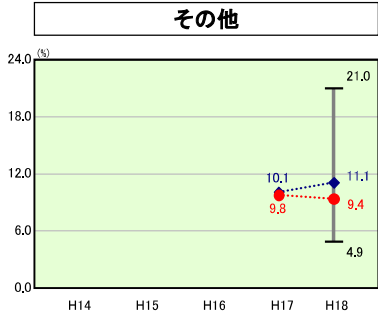
H18類似団体内順位
15/43
全国市町村平均
70.5
福井県市町村平均
71.8



H18類似団体内順位
31/43
全国市町村平均
18.8
福井県市町村平均
16.6



H18類似団体内順位
30/43
全国市町村平均
10.2
福井県市町村平均
18.7



H18類似団体内順位
14/43
全国市町村平均
10.8
福井県市町村平均
10.6